

I 公1：見本市・展示会事業

1 主催・共催事業

(1) 西日本地域の経済活性化や産業・貿易の振興に寄与するため、国や地域の行政機関等の施策や方針との連携を図りながら、各種の見本市・展示会等を企画・開催した。主催・共催の事業においては、「課題解決伝言板」の設置やSDGsモデル都市としての北九州市の情報発信等を行い、情報交流型の展示会運営に取り組んだ。

◆当協会が主催・共催した主な見本市・展示会 () 内は平成30年度実績

事業名	開催期日	入場者数	出展社数
西日本製造技術イノベーション2019	6月19日～21日	31,672人(17,214)	66社・団体(48)
第45回ふくおか産業技術振興展			19社・団体(21)
第41回西日本陶磁器フェスタ	9月19日～23日	56,379人(64,813)	230社(226)
エコテクノ2019～地球環境ソリューション展～	10月9日～11日	28,120人(30,455)	41社・団体(59)
エコテクノ2019～エネルギー先端技術展～			86社・団体(85)
エコ・ベンチャー・メッセ2019			13社・団体(21)
中小企業テクノフェア in 九州2019			51社・団体(70)
P.P.C.2019 第21回西日本国際福祉機器展	11月14日～16日	18,611人(20,069)	141社・団体(119)
合計	8事業(8事業)	134,782人(132,551)	647社・団体(649)



西日本製造技術イノベーション2019



第41回西日本陶磁器フェスタ



第21回西日本福祉機器展

【事業の効果的な推進に向けた主な取り組み】

ア 見本市・展示会の価値創造

SDGs 未来都市・北九州市のテーマである持続可能な目標に応じた地域経済活動に取り組むため、「次世代金融や再生エネルギーの利活用」「地域に根差した伝統工芸の振興」「Society 5.0 社会課題への対応」など産業振興に注力した。また、ビジネスマッチング機能や業務の共通化などに取り組み、出展社数や来場者数などの改善につなげた。

○ 西日本製造技術イノベーション

航空機産業やSociety 5.0 社会に対応した先進医療・介護ロボット等のセミナー、高機能素材「CFRP(炭素繊維強化プラスチック)」「CNF(セルロースナノファイバー)」の特別企画展を開催、2013年のリニューアル以降の最大規模(出展社数:207社)となった。また、溶接・接合技術の展示会「2019 ウエルディング・フォーラム in 西日本」を2年ぶりに同時開催し、前回の同時開催時を大きく上回る入場者数31,672人(前回比164%)を記録した。

○ 西日本陶磁器フェスタ

特別企画として、「SAGA TEA WARE FAIR」、「未来デザインクリエイティブ～現代の名窯 柿右衛門の世界～」を展開。著名作家の逸品を洗練されたテーブルコーディネートで展示するとともに、柿右衛門窯の当主 十五代酒井田柿右衛門氏を招いてのトークライブを開催し高い評価を得た。また、人気作家の器で日本茶を楽しむカフェの設置やSNSを活用した広報などにより、若年層の集客につなげた。

イ 成果のあがる展示会の構築(継続的マッチング支援)

主催展示会での販売促進や商談の支援のため、出展社とユーザーとの橋渡しに努め、より大きな成果が得られるように会期前後の活動を強化した。

○ 製造技術マッチングフェア(商談会)

展示会を介した地域中小企業の販路拡大支援として、(公財)福岡県中小企業振興センターの協力を得て「製造技術マッチングフェア(商談会)」を開催した。

○ 中小企業テクノフェア in 九州2019 ビジネスマッチング事業

産業コーディネータ集団「NPO法人北九州テクノサポート」と連携し、マッチングの件数と質の向上を目指した取り組みを行い、商談成立額は前年を上回った。

(2) 主催・共催事業と並行して関連するセミナー、シンポジウムを開催した。(104テーマ、参加者数4,611人)

2 関係団体との連携事業

(1) 主催事業における産学官連携

主催事業のうち、産業技術分野の展示会では、国、福岡県、北九州市や大学、関係団体、研究機関等と連携し、効果的な事業推進を図った。

(2) 国際化の推進

ア 韓国BEXCO(釜山国際展示場)とのMOU事業

MOUを締結しているBEXCOと、主催事業の相互出展やベトナム環境展における九州企業の販路拡大支援の実施、表敬訪問等を行った。

相互出展においては、「ENTECHベトナム」(ホーチミン)、「ENTECH釜山」、「KORECA2019」にブース出展した。「ENTECHベトナム」では7社の企業のコーディネートを行い、九州環境エネルギー産業推進機構(K-RIP)と協力し、来場誘致型のビジネスマッチングにより多くの商談を実施した。

イ 展示会の国際化

エコテクノにおいて、BEXCOとの相互出展事業として「ENTECH釜山」のPRブースを設けたほか、KOTRA韓国貿易センター(福岡)や韓国大田市が韓国企業の紹介のため出展した。また、西日本国際福祉機器展において、「KORECA」のPRブースの設置や、韓国大田広域市東京事務所を介しての企業出展が行われた。

(3) 新たな価値創造を目指した見本市運営

全国の展示会の動向調査や展示会のステークホルダーからの要望を踏まえ、展示会のリニューアルについて検討を進めた。

また、展示会を活用したビジネスマッチングのため、出展企業と来場者を結びつける「課題解決掲示板」を、製造技術イノベーション展・エコテクノ・西日本国際福祉機器展の3展で実施し、地域の課題解決機能として活用した。

(4) 災害復興支援

平成28年4月の熊本・大分地震災害と、平成29年7月の九州北部豪雨及び平成30年西日本豪雨では、展示会に関する団体・企業も被災しており、主催展示会で復興支援に取り組んだ。

エコテクノでは、震災復興支援ブースを設け、被災した各県の環境・エネルギー関連企業に参加を呼びかけ、熊本地区のほか、広島県・岡山県からも参加を得て、販路開拓・情報発信支援に取り組んだ。(参加数8社8小間)

また、西日本陶磁器フェスタでは、朝倉産の杉材を使用したおきあがりこぼしを展示・販売し売り上げを寄付する、朝倉災害復興支援事業「あさくら杉おきあがりこぼし展」(主催:同展実行委員会)を展開。広報協力と会場の無料提供により同事業を支援した。

Ⅱ 公1：会議・大会等

1 誘致・支援事業

(1) 北九州市では、日本政府観光局(JNTO)の企画事業への積極的な参加による連携強化や、地元及び首都圏等の学会・大会等のキーパーソンとのネットワークの深化・拡大への取り組み、グローバルMICE推進協議会との連携による海外セールス、商談会への参加等を行い、積極的な誘致活動を進めた。JNTO発表の2018年の国際会議開催件数は全国8位と前年同様の好成績をおさめた。

国際規模をはじめとする学会・大会等の誘致に積極的に取り組んだ結果、令和元年度の開催状況は、316件となった。また、これらの誘致活動および開催助成金の効果的な活用成果として、令和2年度以降に合計217件(令和2年3月31日現在)のコンベンションが予定されている。

なお、観光庁作成の「MICE開催による経済波及効果測定モデル」によれば、令和元年度の当協会が誘致し開催した案件による経済波及効果(間接2次波及効果、雇用効果を含む)の推計値は83億8,180万円であった。

◆ 年度別開催件数の推移 (単位：件)

区分	国際	全国	その他	合計
R1年度	127	73	116	316
H30年度	114	80	87	281
H29年度	121	75	86	282

◆ 年度別参加者数の推移 (単位：人)

区分	国際	全国	その他	合計
R1年度	72,088	75,745	50,288	198,121
H30年度	86,372	69,256	40,913	196,541
H29年度	35,147	89,957	89,173	214,277

◆ 令和元年度開催の主な会議・大会

規模	名称	開催時期	会場	規模 (外国国数、人数)
国際	5th IEEE International Conference on Applied System Innovation (IEEE ICASI 2019)	R1年 4月	北九州国際会議場 AIM3F	760人 (5カ国700人)
	Asia Pacific Conference2019 (九州歯科大学アジア太平洋カンファレンス2019)	R1年 5月	九州歯科大学	680人 (2カ国70人)
	79th Analytical Chemistry Symposium (日本分析化学会 第79回分析討論会)	R1年 5月	北九州国際会議場 AIM3F	2,000人 (6カ国180人)
	The 2019 Asian Control Conference (アジア自動制御学会 ASCC2019)	R1年 6月	北九州国際会議場	1,950人 (23カ国1200人)
	57th Annual Meeting of the Adhesive Society of Japan (第57回日本接着学会年次大会)	R1年 6月	北九州国際会議場	1,072人 (4カ国93人)
	The 8th International Conference on Frontier Computing (FC2019)	R1年 7月	北九州国際会議場	200人 (11カ国180人)
	World Mathematics Invitational (WMI世界数学決勝大会)	R1年 7月	西日本総合展示場新館	1,500人 (15カ国1500人)
	The 5th International Conference on Fuzzy Systems and Data Mining (FSDM2019)	R1年 10月	北九州国際会議場	489人 (19カ国440人)
	62nd Autumn Meeting of the Japanese Society of Periodontology (第62回秋季日本歯周病学会学術大会)	R1年 10月	西日本総合展示場新館 北九州国際会議場 AIM3F	5,622人 (3カ国48人)
	ALLCD International Workshop 2020	R2年 2月	北九州学術研究都市	1,100人 (5カ国880人)

規模	名称	開催時期	会場	規模
全国	第45回日本熱傷学会総会学術集会	R1年 5月	北九州国際会議場	1,140人
	公益社団法人日本リウマチ友の会 第59回全国大会	R1年 6月	リーガロイヤルホテル小倉	600人
	第44回 海洋開発シンポジウム2019	R1年 7月	北九州国際会議場	796人
	第39回日本骨形態計測学会	R1年 7月	北九州国際会議場	700人
	令和元年度 全国高専フォーラム	R1年 8月	北九州国際会議場 AIM3F	1,500人
	令和元年度 日本私立大学協会 事務局長相当者研修会	R1年 10月	リーガロイヤルホテル小倉 TKP カンファレンスセンター	1,200人
	一般社団法人 日本塗装工業会 第26回全国建築塗装技能競技大会	R1年 10月	西日本総合展示場新館 北九州国際会議場	2,000人
	北九州港開港130周年記念事業 「JWPA10周年記念 洋上風力シンポジウム」	R1年 10月	北九州国際会議場 明治学園、他	1,599人
九州 西日本	第16回 日本褥瘡学会九州沖縄地方会学術集会	R1年 5月	ソレイユホール・ 男女共同参画センタームーブ	2,609人
	第23回日本救急医学会九州地方会	R1年 5月	北九州国際会議場	1,000人



WMI 世界数学決勝大会



第57回日本接着学会年次大会

(2) 主な取り組み

○誘致営業

学会・大会の開催情報を早期に入手して積極的な誘致活動に取り組み、新規誘致件数(令和元年度中の誘致営業により北九州市での開催が決定した件数)は294件と目標を上回る結果を残すことができた。

また、関係機関との連携や人的ネットワークの活用により、国際・全国レベルのキーパーソンにアプローチするとともに、MICE受け入れの態勢の強化を図った。

○スポーツ誘致

第1回北九州市長杯兼第14回西日本新聞社旗争奪夏季野球大会、第71回全日本学生新体操選手権大会、第24回全日本レディースソフトボール大会等の誘致を行い、45件、延参加人員7万人のスポーツイベントを北九州市に誘致することができた。

○グローバルMICEの推進強化

国際会議協会 ICCAのネットワークの活用やアジア太平洋地区事務局との連携強化により国際会議誘致に取り組むとともに、JNTOと連携し、「JAPAN MICEセミナー」(シンガポール)や、中国・ベトナムでのインセンティブ商談会、「AIME2020」(オーストラリア)等の商談会に参加し、学協会の国際団体、コアPCO等に誘致営業を行った。

また、JNTO ロンドン事務所から国際エネルギー機関(IEA)のワークショップ開催地リサーチの情報を得て、北九州市の開催地としての好適性を提案、ワークショップのアジア初開催に結び付け、当協会がIEA ロンドンを全面サポートした。

○ローカルホストとの連携強化、首都圏交流会の開催

大学等との「コンベンション誘致・開催に関する連携協定」を活かした大学の教授会でのMICE説明会や、ローカルホストとの交流会を開催し、連携強化を行った。また、首都圏の大学教員等の会議主催者との交流会を、一体的な都市圏・経済圏を形成する下関市と共同で開催した。

○ユニークベニューの活用とアフターコンベンションの強化

ミクニワールドスタジアム北九州の特別ラウンジを使用したバンケットが多く、学会・大会で活用され、広く定着した。また、小倉城の天守閣・しろテラス、関門海峡ミュージアムのマリーナテラスKAITOが特別感を演出する空間としてアフターコンベンションの新たなメニューとなった。



マリーナテラス KAITO でのバンケット

2 主催・共催事業

国際会議場等を活用し、幅広い年齢層を対象に各種イベントを実施した。

◆イベント・大会等の企画、開催（主催・共催） ※（）内は平成30年度実績

事業名	開催期日	入場者数
小倉まちづくりミーティング泡盛ナイトinくら	R1年7月31日	191人(166人)
第26回北九州将棋フェスティバル	R1年9月14日～15日	837人(787人)

※第19回全国俳句大会 in 北九州は新型コロナウイルス感染症拡大により中止

Ⅲ 公1・収1：貸館利用者の誘致・営業強化

1 営業体制の強化

(1) リピーターへの定着化フォロー及び過去利用者への提案営業

中古車・家具の展示会や試験会場等の既存利用者へ、次回日程提案等の積極的なフォローを行い定着化を図った。また、過去の展示場の顧客データを分析するとともに、隔年開催や利用頻度が減少等している顧客に対し、定期訪問による施設利用の働きかけや集客支援などの提案営業を実施し、11件の復活開催が実現した。

(2) 新規利用者の開拓

ゲーム大会や社内技能競技会、大学の入学試験会場、アニメコンサートなど25件の新規展示会等を開催した。

(3) 大規模イベントの誘致と支援

4・5月のゴールデンウィークに人気スマホゲーム「グラブルエクストラフェス2019福岡」が展示場新館で開催された。10月には久光製薬(株)の社内運動会「Hisamitsu OP・PP～未来への貼戦～」が東京2020オリンピック・パラリンピックのプレイイベントとして展示場新館で開催された。また、同じく10月に今回で5回目の開催となる「東京ガールズコレクション2019」(TGC KITAKYUSHU 2019)を、11月には今回で6回目の開催となる「北九州ポップカルチャーフェスティバル2019」(KPF2019)が開催され、北九州市の活性化と経済効果を促した。



グラブルエクストラフェス 2019 福岡



Hisamitsu OP・PP～未来への貼戦～

◆令和元年度 新規及び利用が復活した主な展示会・見本市等の誘致実績

催事名	催事名
AKB48大握手会 (H31年4月)	第1回全国トヨタ販売店サービス技術コンクール九州地区大会 (R1年11月)
小倉ハンドメイドマルシェ (R1年5月)	FGOウインターキャラバン2019-2020～カルデアパーク (R1年12月)
2019北九州フードフェア (R1年5月)	いきものKINGDOM in 北九州 (R1年7・8月)
いきものKINGDOM in 北九州 (R1年7・8月)	TOMORROW X TOGETHERリリース記念特典会 (R2年1月)
第1回北九州ミネラルマルシェ (R1年8月)	西南学院大学 一般入試 (R2年2月)
北九州 子どものための大昆虫展 (R1年8月)	LOVELIVE! SUNSHINE!! UNITLIVE ADVENTURE 2020 (R2年2月)
令和元年度 第1回運行管理者試験 (R1年8月)	
2019ファディ大展示商談会 (R1年9月)	
Hisamitsu OP・PP～未来への貼戦～ (R1年10月)	
第5回スプラトゥーン甲子園九州地区大会 (R1年11月)	

2 閑散期対策等のイベントコーディネート

7月に「トミカ博 in KITAKYUSHU」をFBS福岡放送と展示場本館で開催した。

平成29年度に続き4回目の開催となり、会期を4日間から5日間に戻したことで、来場者は6.6万人(前回5.9万人)となった。また、過去最多動員(22,118人)となった7月14日(日)には、熱中症対策として入場待機導線を展示場新館A区画内に設けた。

7月下旬からは、札幌市で体験型ふれあい動物園を運営しているノースサファリサッポロが「いきものKINGDOM in 北九州」をRKB毎日放送と展示場本館で初開催した。31日間の会期で7万人が来場した。



いきものKINGDOM in 北九州

◆令和元年度 閑散期対策イベント等

催事名	会期	入場者数
トミカ博 in KITAKYUSHU	R1/7/12～17	65,828名
いきものKINGDOM in 北九州	R1/7/26～8/25	70,079名
合計		135,907名

〈参考〉令和元年度 北九州市のMICE開催実績

区分	件数	参加人数	経済波及効果(間接・雇用効果を含む)
会議・大会等	316件	198,121名	8,382百万円
見本市・展示会・イベント	25件	350,142名	13,387百万円
合計	341件	548,263名	21,769百万円

※開催実績の対象は、以下の2つの条件を満たすもの。ただし、展示即売など主に営業目的とするものは除く。

①北九州市MICE誘致推進本部事務局(北九州市産業経済局観光にぎわい部及び当協会)が誘致・開催支援・実施したもの。

②北九州市地域以上を参加規模とするもの。

※経済波及効果は、観光庁の「MICE開催による経済波及効果測定モデル」により算定。

IV 公1・収1：広報・宣伝、地域連携

1 広報、宣伝

ホームページでのイベント情報・施設紹介、協会主催事業やコンベンション誘致に関する情報の提供をおこなったほか、広報誌「催事案内」の発行を行い集客に活用した。また、北九州市の玄関口である北九州空港やJR小倉駅では、施設内にある電照広告看板やマルチビジョンを用いて施設PRを行った。

2 地域連携

小倉駅新幹線口エリアの地域振興団体と共同で、交流イベントや地域清掃活動等の実施、「こくらマップ」の作成及びMICE参加者等への配布を行い、地域の活性化・にぎわいづくりに取り組んだ。

また、JR主要駅に近接する施設の特徴を生かすため、JR九州・JR西日本と連携し、ポスター・チラシの掲出やパンフレットの配布など、効果的な主催事業等のPRを行った。



V 公・収1：管理・運営

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年2月以降は催事の開催自粛が相次ぎ、令和2年3月は大型イベントを中心にほとんどの催事がキャンセルとなった。感染拡大以前の実績が好調に推移していたため、利用実績の大幅な減少にはならなかったが、稼働率等が前年を下回る要因となった。

1 お客様満足度の向上

(1) サービスの向上

利用者に対して、そのニーズを的確にくみ取り、丁寧な対応すること心掛けた。また、ウェブサイトでの会議室利用料等の概算シミュレーションが可能な予約サポートシステムの活用により、利用者の利便性向上に努めた。

ミクニワールドスタジアム北九州での試合やイベント開催時には、スタジアム来場者が展示場・会議場利用者に影響が及ばないように、ギラヴァンツ北九州等の主催者・関係者と事前に会場周辺についての打ち合わせを行い、トラブル防止に努めた。また、北九州国際会議場で開催されている国際会議のバンケット(交流会等)をスタジアムで開催するなど、一体利用にも努めた。

(2) 職員の資質・能力の向上

職員の新規採用により人材の充実を図るとともに、「国際会議場施設協議会」「全国展示場連絡協議会」の担当者実務セミナーを受講等により、職員の資質・能力の向上を図った。

2 利用料金の見直し

北九州市に誘致された大規模国際大会のため、弾力的な運用を行い、開催支援を行った。また、労働力不足等による委託費・修繕費の上昇や消費税率改正等への対応と、収益向上に向け料金体系を検討し、令和元年10月に展示場本館の利用料金及び駐車場料金の改定を行った。

3 管理業務の効率化

本館・大展示場の天井照明のLED化による電力使用量の低減や、メンテナンス等委託業務の内容の見直しなど、管理経費の削減に努めた。また、国際会議場へのテナント入居促進や、全国規模の賃貸会議室ポータルサイトでのPRなど、増収対策に取り組んだ。

4 施設の改修等

施設の老朽化対策や利便性・安全性の向上等のため、施設設備の改修更新等を行った。
*展示場本館：屋根防水改修工事、大展示場照明LED化、主催者室空調機更新、等
*展示場新館：過電流継電器交換修繕、消防設備修繕、主催者室等扉老朽化対策、等
*国際会議場：トイレ洋式化工事、テナント用事務室改修、冷温水循環ポンプ補修、等

5 施設の稼働率等

◆西日本総合展示場本館の利用状況

区分	件数(件)	稼働日数(日)	稼働率(%)	入場者数(万人)
R1年度	61	308	88.0	27
H30年度	64	299	86.9	24
H29年度	67	285	80.3	32

◆西日本総合展示場新館の利用状況

区分	件数(件)	稼働日数(日)	稼働率(%)	入場者数(万人)
R1年度	171	274	78.3	57
H30年度	193	309	86.6	56
H29年度	179	286	79.2	69

◆北九州国際会議場の利用状況

区分	件数(件)	稼働日数(日)	稼働率(%)	入場者数(万人)
R1年度	536	323	91.0	7
H30年度	539	334	96.0	8
H29年度	557	325	94.5	6

6 指定管理

指定管理期間(令和元年度～5年度)の初年度であった令和元年度は、終盤で新型コロナウイルス感染症拡大の影響があり、指定管理計画に掲げた目標(来場者数(展示場・会議場)96万人、コンベンション誘致件数250件など)のうち一部は未達となったが、感染症拡大以前が好調であったため、若干の未達にとどまり概ね達成(来場者数91万人、コンベンション誘致件数294件など)した。

Ⅵ 公2：観光客の誘致及び滞在化の促進

上期は順調に実績を伸ばしたが、下期はインバウンドの減少や新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光客の減少とセールス活動の自粛などの影響が生じた。

1 観光客誘客事業・滞在化促進事業

北九州市及び観光関連企業で「北九州市国内観光客等誘致促進協議会」等を組織し、国内・海外において本市の観光資源や新しい観光情報等のPRを行った。令和元年度はJR門司港駅や関門海峡ミュージアム、小倉城のリニューアルオープンをPRし、門司港レトロエリア、小倉エリアへの集客増を図った。

【北九州市国内観光客等誘致促進協議会事業】

KitaQフェス in TOKYO（東京都・11月9日～10日）での観光PRや、北九州観光キャンペーン in 関東（11月6日～8日）での新聞社・ラジオ局への表敬訪問、旅行会社へのセールスを実施した。

また、ハローキティを活用した観光PRを行い、スマホ等のGPS機能を活用したARフォトスポットの設置やバスツアーを実施した。

【北九州市国際観光推進協議会事業】

誘致助成金事業や、韓国、台湾での観光プロモーション等を実施し、海外からの観光客の誘致を図った。

- ・韓国「2019ハナツアー旅行博覧会」への出展（ソウル市・6月7日～9日）
- ・台湾エージェントセールス・商談会（台北市、台中市、高雄市・10月21日～24日）
- ・香港エクスプレスFAMツアー（11月19日～22日）

【北九州産業観光センター実行委員会事業】

市内外のイベントに出展し、産業観光PRを実施した。

- ・「ひろしま旅文化祭」（ジアウトレット広島・10月5日～6日）
- ・「ツーリズムEXPOジャパン2019」（インテックス大阪・10月24日～27日）
- ・「北九州マラソン2020」（西日本総合展示場新館・2月15日～16日）
- ・「ギラヴァンツ北九州ホーム初戦」（ミクニワールドスタジアム北九州・2月23日）など

2 修学旅行誘致事業

北九州市及び修学旅行関連企業と連携し、主要都市の旅行会社へのセールス活動を行った。

【訪問都市】

- 第1回：岡山市・高松市・高知市・松山市・広島市 計33社（中学生対象）
- 第2回：福井市・金沢市・長野市・松本市 計19社（高校生対象）
- 第3回：佐賀市・佐世保市・島原市・大村市・長崎市 計18社（小学生対象）

Ⅶ 公2：観光都市北九州の広報宣伝と観光情報の収集・調査

企画広報宣伝・情報収集調査事業

機関誌・観光関連書籍の発行やホームページ等の運営により、広報宣伝と観光情報の収集・調査に努めた。

（1）機関誌の発行

季刊情報紙「誘 ing 北九州観光だより」の発行

春号（4月1日）、夏号（7月1日）、秋号（10月1日）、冬号（1月1日） 各10,000部

（2）ホームページ等の運営

平成29年3月より公開していた関門PRムービー「COME ON! 関門! ～海峡怪獣～」のYouTube動画再生回数が1億回を突破した。自治体制作のPR動画としては異例の再生回数であり、当PRムービーで全世界に向け積極的な観光PRを行った。

① ぐるリッチ! 北Q州	アクセス数	928,447件
② フェイスブック	いいね! 件数	9,680件
③ Instagram	フォロワー数	7,658件
④ Twitter	フォロワー数	2,876件

（3）観光関連書籍の発行

北九州観光カレンダー 8,000部（11月1日発行）

Ⅷ 公2：観光に関する人材の育成及び啓発

1 百万にこここホスピタリティ運動

食事やお土産購入、観光に活用できる北九州いろいろマップの制作（10,000部）や、門司港地区において観光従事者の研修会を実施した。

2 観光案内ボランティアの養成及び派遣

（1）観光案内ボランティア制度運営

旅行会社等からの依頼による門司港レトロ地区等でのガイド活動や、イベント、祭りに合わせて設置した特設観光案内所でのガイド活動を実施した。また、ガイドのレベル向上のため観光案内ボランティア研修会を開催した。

① 旅行会社等からの依頼による門司港レトロ地区をはじめとするガイド活動

- ・ガイド件数 1,135件（特設観光案内所含む）
- ・ガイド人数 23,848名（特設観光案内所含む）
- ・活動者数 1,945名

② イベント、祭りにあわせて設置した特設観光案内所でのガイド活動

とばた菖蒲まつり（6月8日～9日）、小倉祇園太鼓（7月20日～21日）、戸畑祇園大山笠（7月27日）、わっしょい百万夏まつり（8月3日～4日）

③ 観光案内ボランティア研修会

- ・全体研修会（8月・10月）
- ・明治日本の産業革命遺産インタープリテーション研修会への参加（1月）
- ・明治日本の産業革命遺産ガイド研修会への参加（2月）
- ・九州観光ボランティアガイド研修会への参加（1月）

など

（2）北九州観光市民大学

期 間 10月16日～1月22日 計13回

会 場 北九州国際会議場 ほか

受講者数 40名

（うち、北九州市観光案内ボランティア登録者24名）



北九州観光市民大学
観光案内ボランティア

Ⅹ 公2：特産品の紹介・宣伝

MICE事業と観光事業の連携、および地元事業者とのコラボレーションによる新しい土産品の開発に取り組み、都市鉱山リサイクルによりパソコン等の廃電子基板から回収した「金」を利用した「金のしおり」の開発・販売を行ったほか、ものづくりの街北九州ならではの「3Dボルト型USBメモリ」を北九州おみやげ館とTOTOミュージアムショップで販売した。

また、特産品のPR、ホームページ・臨時売店での販売を行った。



金のしおり



3Dボルト型USBメモリ

(1) 特産品パンフレットの作成配布

特産品を紹介するパンフレットを作成、市内各所に設置し観光客等にPRを行った。

(2) ホームページでの紹介、販売（オンラインショップ）等

- ・北九州観光市場 発注件数 230件
- ・楽天市場 発注件数 821件
- ・ふるさと北九州市応援寄附金返礼品 受注件数 727件

(3) 大規模イベント会場での臨時売店設置（主なもの）

〈市内〉

- ・第60回(公社)日本食品衛生協会九州ブロック大会：5月16日 北九州国際会議場
- ・全日本視覚障害者協議会第34回福岡大会：6月1日 ホテルクラウンパレス北九州
- ・第26回北九州将棋フェスティバル：9月15日 北九州国際会議場
- ・北の九州マルシェ in イオン若松店：9月14日～16日 イオン若松店
- ・ZONTA CLUB：10月10日～12日 リーガロイヤルホテル小倉
- ・第61回朝日新聞社杯競輪祭：11月19日～24日 北九州メディアドーム
- ・第53回日本痛風・尿酸核酸学会総会：2月13日～14日 北九州国際会議場
- ・北九州マラソン2020：2月15日～16日 西日本総合展示場新館
- ・第22回ニュージェネレーションテニスジュニアスカウトキャラバン全国大会
：2月18日 穴生ドーム

〈市外〉

- ・「北の九州」歌舞伎座木挽町広場 北九州物産展
7月29日～8月31日 歌舞伎座木挽町広場
- ・ラグビーワールドカップ2019PRブース 10月2日・9日 大分スポーツ公園総合競技場
- ・ひろしま旅文化祭2019 10月5日～6日 ジ アウトレット広島
- ・KitaQフェス in TOKYO 11月9日～10日 東京都・アーツ千代田3331
- ・お城EXPO2019 12月21日～22日 横浜市・パシフィコ横浜

Ⅹ 公2・収2：観光に関する施設の管理運営

1 観光案内所運營業務（公益目的事業）

【北九州市観光案内所運営協議会】

北九州市、JR九州、西鉄バス北九州、北九州エアターミナルと北九州市観光案内所運営協議会を組織し、官民一体となり市内3箇所の観光案内所におけるサービス強化を図った。

・案内件数

北九州市総合観光案内所	66,047件
門司港駅観光案内所	22,531件
北九州空港総合観光案内所	52,206件

【北九州産業観光センター】

北九州産業観光センター（北九州市、商工会議所、当協会）において、産業観光協力企業と工場見学等に関する調整を行うとともに、産業観光ツアー及び工場夜景クルーズへのガイド・ナビゲーターの派遣等を行った。

・参加状況

産業観光視察	21件	522名
工場夜景ツアー（クルーズ、バス）	10件	540名
工場夜景定期クルーズ（実施主体：関門汽船株）	90件	3,673名

2 土産品・特産品売店の管理運営（収益目的事業）

門司港レトロ地区の主力のお土産センターとして「北九州おみやげ館」を運営。免税店としての機能を活用した外国人旅行者への土産品PR・販売の促進や、キャッシュレス消費者還元事業加盟店登録によるキャッシュレス化の促進、新POSレジの導入による売れ筋データの集約・分析など、販売の促進・強化を行った。

また、TOTOミュージアムでは、売店の運営を受託し、産業観光と連携した土産品の紹介・販売を行った。

(1) 土産品、特産品売店の運営

- ・北九州おみやげ館
- ・TOTOミュージアムショップ

(2) 門司港レトロ駐車場の管理運営

- ・利用台数（乗用車） 65,189台



北九州おみやげ館

3 小倉駅イベント広場等の管理運営（収益目的事業）

ーJAM広場、JAMビジョンー

JR小倉駅3階在来線改札口前のJAM広場について、イベントや観光展などへの貸し出しを行った。

また、同場所において、大型映像装置「JAMビジョン」で、市政情報・啓発CMや観光情報、広告CM等の放映を行った。



JAM広場・JAMビジョン